



# 日耳鼻医会

## FAXニュース

平成26年9月3日発行 第218号

### 「中四国フォーラムin倉敷」

—明日に架ける橋—

参加登録受付中 当日受付も可  
多数の参加をお待ちしております。

会期:平成26年9月14日(日)・15日(月・祝日)

会場:倉敷市芸文館(倉敷市中央1-18-1)

問い合わせ先:第39回臨床家フォーラム実行委員会

TEL:0898-23-0532 FAX:0898-23-8510

ホームページ: <http://jenti-kurashiki-forum.jimdo.com/>

### ◎第12回日本臨床分科医会代表者会議 開催される 於 日耳鼻医会事務所

平成26年8月28日(木)午後3時から日耳鼻医会事務所  
で、日本医師会小森貴常任理事を招き、日本眼科医会、  
日本産婦人科医会、日本小児科医会、日本臨床整形外  
科学会、日本精神神経科診療所協会、日本臨床内科医  
会、日本臨床脳神経外科協会、日本臨床泌尿器科医会、  
日本臨床皮膚科医会、日本放射線科専門医会・医会と当  
会の11団体が集まって開かれた。日耳鼻医会からは伊東  
理事長、鈴木・阿部・中澤副理事長、大津理事が出席。会  
議は日耳鼻医会伊東理事長、日本医師会小森常任理事  
挨拶の後議事に入った。

日本小児科医会から成育基本法について説明があり、  
過去20年の少子化対策には明らかな限界があり、「少子  
化では困るから対策」ではなく「子育ては大切だから社会  
が応援」つまり「次世代育成政策」への転換が必要であり、  
そのための国会議員13名による議連も出来ているの  
で、成育基本法の成立に各科医会の理解協力をお願いし  
たいとの発言があり、そのように協力することになった。

日本臨床整形外科学会から専門医制度に対する日本  
医師会の方針を知りたいという議題に関して、各科に専  
門医制度の現状を報告して貰った後、小森日本医師会常  
任理事が、基本的な考え方について説明した。大きな柱  
は次の5つ。

1. 専門医の評価・認定はプロフェッショナルオートノミー

を基盤としてこれを行う

2. 現行の医療制度と整合性のとれた専門医制度とし、地  
域を診ているかかりつけ医を評価する
3. 専門医制度を医師の偏在是正を目的とすることによ  
り、制度自体をゆがめない
4. 専門医のインセンティブについては慎重に議論する
5. 専門医の認定・更新にあたり、日医生涯教育制度を活  
用する

代表者会議は午後5時終了、その後懇親会を行った。次  
回は来年1月に日本医師会会館にて開催予定。

### ■耳鼻科校医として「剣道難聴」に理解を

8月3日宮崎県医師会担当で宮崎市で開かれた九州ブ  
ロック学校保健・学校医大会分科会耳鼻咽喉科部門で宮  
崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部学科分野の東野哲也教  
授は「スポーツによる聴器疾患:剣道難聴とサーファーズ  
・イヤール」と題した講演を行い、「宮崎県の某高校の剣道  
部員の聴力を調べたところ2000Hzにdipが見られる生徒  
が多く見られた。防具の上から叩かれるときの衝撃音の  
骨導入力に影響とみられる。この衝撃音の周波数を調べ  
ると1000Hz付近に120dBのピークがみられた。打撃による  
周波数としてはこの付近が多い。暴露周波数よりも半オク  
ターブから1オクターブ上の高音側の基底膜の振動が最  
高になるので、2000Hzに障害が起こると考えられる。

2000Hz-dipは、1000Hzと4000Hzで選別される学校健診  
では検出出来ない。耳鼻科校医として小中学校検診の間  
にこの剣道難聴への啓蒙が必要であり、この予防のため  
に学校に働きかけるべき」と説いた。

### ◎点数一覧表14頁についての質問への回答

社会保険担当委員 江崎俊夫

短期滞在手術等基本料で 注2 の下の留意事項  
(3)に、「D237の1、D237の2の終夜睡眠ポリグラフィー  
の検査は、原則として入院で実施されるべきものでない」  
と記載されていることについて質問が寄せられました。

終夜睡眠ポリグラフィーの検査は、入院させて実施する  
検査ですが、「急性冠症候群や急性脳血管障害等」の緊急  
入院の場合のみは、「短期滞在手術等基本料」が算定  
できます。それ以外の場合は、入院基本料で算定する  
こととなります。言い換えると、終夜睡眠ポリグラフィーの  
検査は、入院させて実施する検査ですが、「急性冠症候群や  
急性脳血管障害等」の緊急入院の場合以外は、入院基  
本料で算定することとなります。

### ■中医協シダトレン薬価収載承認

厚労省の中医協・総会は8月27日、新薬22成分33品目  
を薬価収載することを決めた。同省は9月2日に収載する  
予定。この中には4月での薬価収載が見送られていた減  
感作療法薬シダトレンも含まれている。舌下免疫療法が  
今秋にも可能になった。薬価は200JAU/mLボトルが1本4  
21.10円、2000JAU/mLボトルが1本1006.60円、2000JAU/  
mLパックが1包100.80円。(8月27日日経メディカル他)

### ■後発薬普及へ処方箋改善

自民党提言 新薬は理由明記

自民党の行政改革推進本部の作業チームは8月18日、  
医療費などを効率化する提言を発表する。ジェネリック薬  
品の普及を加速させるため、処方箋の様式を改めるよう  
求める。医師が処方箋に「後発薬への変更不可」とサイ  
ンした際に、新薬を使う理由の記載を義務づけて、医療費  
の削減に結びつける。現在は「後発薬への変更不可」欄  
に署名する形式で原則として後発薬の利用を促している  
が、署名した際に新薬を使う必要性も明記させて、根拠が  
乏しいのに後発薬に切り替ええないといったことを防ぐ。

医師の判断が適正だったかを検証出来るようにする狙い  
もある。(8月18日 日経新聞要約)

KYOWA KIRIN



アレルギー性疾患治療薬 (薬価標準収載)

**アロック® OD錠2.5・5  
錠2.5・5  
顆粒0.5%**

ALLELOCK® OD Tablets・Tablets・Granules 0.5% 顆粒0.5%

オロパタジン塩酸塩口腔内崩壊錠・オロパタジン塩酸塩錠  
オロパタジン塩酸塩顆粒

「効能・効果」、「用法・用量」、  
「用法・用量に関連する使用上の  
注意」、「禁忌を含む使用上の  
注意」等は製品添付文書を  
ご参照ください。

製造販売元 [資料請求先]  
**協和発酵キリン株式会社**  
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185  
[www.kksmile.com](http://www.kksmile.com)

2013年5月作成 ©登録商標

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会

〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F

TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228

HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail [jimu@jenti.or.jp](mailto:jimu@jenti.or.jp)

当会への要望・意見・相談をお寄せ下さい